

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21700 地籍調査事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	2	総務費		個別分野	1	土地利用		
			項	1	総務管理費		施策概要	1	総合的な土地利用		
			目	18	地籍調査費		根拠計画				
担当課	農政部 林務課	内線	2235								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・土地の実態の正確な把握や地籍の明確化により森林整備を円滑に行うとともに、境界紛争を防止する。	概要	・一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その成果を地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)にまとめる。 ・調査の成果(地籍図、地籍簿)を法務局に送付し、登記簿の修正と不動産登記法第14条の地図整備を行う。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
木材生産量	90,148㎡	-	127,000㎡
伐採された木材の利用率	37%	-	45%

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		152,038	119,931	131,176	176,176	113,227	△ 6,704
特定財源	国費( )						
	県費( 地籍調査事業費 3/4 )	116,450	92,475	97,500	131,250	84,599	△ 7,876
	その他( )						
一般財源		35,588	27,456	33,676	44,926	28,628	1,172
個票枝番	主な事業内容						
	測量等委託	130,000	101,293	130,000	130,000	112,224	10,931

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		150,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
153,519	151,193	151,193	20,017	
113,904	112,500	112,500	15,000	
39,615	38,693	38,693	5,017	
査定額	説明			
150,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・地籍調査事業量(換算面積)4.76km <sup>2</sup> 地籍調査進捗率 '13.7% (丹生川地域 1.26km <sup>2</sup> 、清見地域 0.10km <sup>2</sup> 、久々野地域 1.24km <sup>2</sup> 、朝日地域 1.22km <sup>2</sup> 、国府地域 0.24km <sup>2</sup> 、上室地域 0.7km <sup>2</sup> ) ※換算面積:地籍調査の各工程に比率を定め、完了した工程の比率に調査面積を乗じた値
評価等	・事業量が目標値に近い数値である反面、進捗率が低い状況である。 ・実施中の地域の事業量拡大と並行して、国土調査事業十箇年計画に基づく旧高山地域の事業着手を検討できるよう、予算の確保について県へ要望していく。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定  ・国の第6次十箇年計画に基づき地籍調査を推進し、進捗率を高める。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・地籍調査事業量(換算面積) 5.10km <sup>2</sup> 地籍調査進捗率 '14.0% (丹生川地域 0.20km <sup>2</sup> 、清見地域 0.58km <sup>2</sup> 、久々野地域 0.61km <sup>2</sup> 、朝日地域 0.77km <sup>2</sup> 、国府地域 1.89km <sup>2</sup> 、上室地域 1.05km <sup>2</sup> )
評価等	・地域の要望を踏まえ、積極的な予算確保に努め、事業量を増やすことができた。 ・H29以降、高山地域の事業着手に向けた財源の確保を念頭に、地域との調整を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定  ・国の第6次十箇年計画に基づき地籍調査を推進し、進捗率を高める。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21830 匠の家づくり支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	農林畜産業の振興 ○海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を目指します。○高山市で生産される農林・畜産品、さらには、それらを使用した飛騨高山の和食文化の市場をトップセールスで開拓します。
	款	2	総務費		個別分野	6	林業						
	項	1	総務管理費		施策概要	2	森林資源の有効活用						
	目	19	環境政策費		根拠計画								
担当課	農政部 林務課	内線	2234										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市産材を使用した木造建築を促進し、市産材の利用拡大を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木造建築物の主な構造材における市産材の使用量に応じ、1㎡あたり20,000円を補助する。</li> <li>・市産材使用量に応じ、家具等木製品を贈呈する地産外消タイプの実施</li> <li>・産直住宅建設促進事業者の活動に対し補助</li> <li>・県産直住宅組合への負担金</li> </ul>
----	--------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
伐採された木材の利用率	37%	-	45%

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		59,890	33,800	30,590	51,390	31,814	△ 1,986
特定財源	国費 (高山・中津川創生連携事業費 10/10)	3,300	2,475				
	県費 (匠の家づくり支援事業費 1/3, 1/2)	320	225	320	320	225	0
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源		56,270	31,100	30,270	51,070	31,589	489
個票枝番	主な事業内容						
	匠の家づくり支援事業補助金	56,390	31,125	30,000	30,000	29,963	△ 1,162
1	高山・中津川創生協議会負担金	3,300	2,475		800	428	△ 2,047

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		56,500
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減	査定額-(c)
51,710	51,390	51,390		20,800
720	320	320		0
	25,000	25,000		25,000
50,990	26,070	26,070		△ 4,200
査定額	説明			
50,000				
800				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・匠の家づくり支援事業 (建築主市内建築型) 82棟 (市外建築型) 23棟 計105棟</li> </ul>
評価等	・本事業により、市産材の利用拡大が実現し、市内の林業・木材産業・建築業の活性化が図られている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度以降も、中京圏から全国に高山市産材の利用拡大を促進する。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・匠の家づくり支援事業 (建築主市内建築型) 82棟 (市外建築型) 19棟 (中津川市連携事業) 10棟 計111棟</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業により、市産材の利用拡大が実現し、市内の林業・木材産業・建築業の活性化が図られている。</li> <li>・平成27年10月に提携した中津川市連携事業については、事業のPRを強化し、市産材の利用拡大に繋げる必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より中津川市連携事業を実施しており、次年度以降も、中京圏から全国に高山市産材の利用拡大を促進する。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	・市産材の需要拡大の促進
財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> <li>・中津川市連携の匠の家づくり支援事業による増</li> </ul>
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

# 主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21830 匠の家づくり支援事業	区分	<input type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 林務課
枝番・内容	1 東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業		<input type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	2	総務費		
		<input checked="" type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線	2234	
		<input type="checkbox"/>		目		19	環境政策費	作成年月	H29.8	

## 事業の目的・概要(Plan)

目的	・中津川市の東濃松と高山市の飛騨の杉を使用し、両地域の素材の良さを組合せた理想の家づくりによる、市産材の利用拡大	概要	・木造建築物の主な構造材における中津川市と高山市の両地域の材を使用し、そのうち高山市産材の使用量に応じ、1㎡あたり20,000円を補助する。
----	--	----	--

### [参考] H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	2,500
	最終	2,500
決算額		2,475
対前年度増減額(決算)		2,475

### [参考] H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	0
主な経費	・東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業 ・高山・中津川創生協議会負担金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

### H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	20,800
	補正等	
	最終	20,800
決算額		1,426
対前年度増減額(決算)		△ 1,049

### H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	20,800
主な経費	・東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業 ・高山・中津川創生協議会負担金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績] ①連続講座「東濃松と飛騨の杉の家づくり」の開催 (中津川市開催3回、高山市開催3回) ②東濃松と飛騨の杉の家づくりの制度検討のための検討会開催 (中津川市開催3回、高山市開催2回、合同開催2回) ③東濃松と飛騨の杉の家づくり普及 (東濃松と飛騨の杉の家づくりを雑誌へ掲載、連続講座等の取り組みを周知するための配布冊子の作成)	
[評価] 平成27年10月に中津川市と「林業・木材産業連携協定」を締結し、両市が協力して地域の林業・木材産業の振興に取り組むこととした。中津川市と連携することにより、中京圏から全国に市産材の利用拡大を目指す。	
次年度以降の考え方(担当課)	中津川市と連携することで、中京圏から全国に高山市産材の利用拡大を目指しPRを図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 1、中津川市、高山市連携検討会の開催、事業のPR 2、東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業の実施	
[スケジュール] ・平成28年7月～ 東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業PRチラシ作成 ・平成28年10月～ 愛知県、富山県、岐阜県のタウン誌に事業宣伝を掲載	

事業実績・評価等	
[事業実績] 中津川市・高山市 林業・木材産業連携協議会 ①東濃松と飛騨の杉の家づくりを雑誌に掲載LPR 愛知県1誌1回、富山県1誌2回、岐阜県5誌1回、2誌1回 ②東濃松と飛騨の杉の家づくりPRチラシ作成配布 20,000枚を作成し、建築事業者等を通じて配布 東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業 10棟 997,000円を支援	
[評価] 既存の「匠の家支援事業」は市内建築事業者には浸透しているが、「東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業」は、今後も、継続して普及宣伝する必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	中津川市と連携することで、中京圏から全国に高山市産材の利用拡大を目指しPRを図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 中津川市・高山市 林業・木材産業連携協議会 ①東濃松と飛騨の杉の家づくりの建築中の住宅見学会開催 ②東濃松と飛騨の杉の家づくり構造見学会PRチラシ等作成  東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業 100棟 200,000円×100棟	
[スケジュール] ・H29年9月～ 民間建築事業者へ構造見学会について周知 ・H29年10月～ 構造見学会の開催	

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	53100 林道管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	2	森林資源の有効活用		
			目	1	林業総務費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	農政部 林務課	内線	2235								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・林道の計画的な維持・修繕を図る。	概要	・林道パトロール等を通じて林道破損箇所の情報を集め、修繕を行う。
----	-------------------	----	----------------------------------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
木材生産量	90,148㎡	-	127,000㎡
伐採された木材の利用率	37%	-	45%

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		66,018	64,156	35,674	73,674	73,196	9,040
特定財源	国費( )						
	県費( 県移譲事務交付金 )	279	206	206	206	268	62
	その他( 使用料、負担金等 )		119			121	2
一般財源		65,739	63,831	35,468	73,468	72,807	8,976
個票枝番	主な事業内容						
	林道の修繕工事	60,000	58,442	30,000	68,000	67,730	9,288
	林道の除草等管理委託	3,000	2,783	3,000	3,000	2,891	108

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		36,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減	査定額-(c)
38,218	35,876	35,876		202
206	268	268		62
	120	120		120
38,012	35,488	35,488		20
査定額	説明			
30,000				
3,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・林道修繕工事 60件 58,442千円 ・林道管理委託 18件 2,783千円
評価等	・定期的な林道パトロールにより、計画的な維持・修繕を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・林道修繕工事 69件 67,730千円 ・林道管理委託 19件 2,891千円
評価等	・定期的な林道パトロールにより、計画的な維持・修繕を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求 ポイント	・林道275路線の維持管理
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	53200 市有林整備事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款	5	農林水産業費	個別分野		6	林業							
	項	3	林業費	施策概要		1	森林の適切な管理							
	目	2	林業振興費	根拠計画		高山市森林整備計画								
担当課	農政部	林務課	内線	2234										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市の基本財産の造成、地域林業の振興、国土の保全等を図ることを目的に、計画的な管理・経営を推進する。	概要	・市有林を適正に管理するため、集約化・森林経営計画に基づき、間伐や枝打ち等の施策を計画的に実施する。 ・市有林を活用し、建設業者等の利用間伐に対する森林施業技術のレベルアップを図る。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
木材生産量	90,148㎡	-	127,000㎡
伐採された木材の利用率	37%	-	45%

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		29,000	24,429	27,150	27,171	17,516	△ 6,913
特定財源	国費 ( )						
	県費 ( 市有林整備事業費 68/100、80/100 )	11,200	21,203	11,700	11,700	6,074	△ 15,129
	その他( 物品売払収入、市有林整備事業雑入 )	8,450	15,939	8,500	8,500	4,133	△ 11,806
一般財源		9,350	△ 12,713	6,950	6,971	7,309	20,022
個票枝番	主な事業内容						
	市有林整備工事(間伐等)	24,000	21,209	23,000	23,000	14,224	△ 6,985

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		30,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)	
34,651	38,480	38,480	11,330	
15,425	17,000	17,000	5,300	
13,489	17,400	17,400	8,900	
5,737	4,080	4,080	△ 2,870	
査定額	説明			
33,000	丹生川・久々野・国府市有林間伐工事			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有林管理事業 24,429千円</li> <li>・利用間伐25.62ha 作業道開設871m 7件</li> <li>・市有林施業管理面積 1392ha</li> </ul>
評価等	・適正な施業により、基本財産の造成、地域林業の活性化が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> H28完了</li> <li><input type="checkbox"/> H29完了予定</li> </ul>

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有林管理事業 17,516千円</li> <li>・利用間伐・39.31ha 作業道開設654m 等 7件</li> <li>・市有林施業管理面積 1431ha</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な施業により、基本財産の造成、地域林業の活性化が図られた。</li> <li>・国等の補助を有効活用し、事業を実施したが、補助金が不足したことにより、予定した事業量はできなかった。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> H29完了</li> <li><input type="checkbox"/> H30完了予定</li> </ul>

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	・市有林の適正な管理・利用を進める上で必要な経費を計上。
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	53210 緑の保全事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	1	森林の適切な管理		
			目	2	林業振興費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	農政部 林務課	内線	2234								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な森林施策を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養機能の向上や災害に強い森林づくりを促進する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>間伐などの国・県が所管する造林補助事業に、嵩上げ補助を実施する。</li> <li>間伐材の搬出利用を促進するため、市場等までの運搬費に補助を実施する。</li> <li>国、県制度において、補助対象とならない規模の小さい森林施策に対して、市単独事業により支援する。</li> <li>平成26年12月の災害による倒木を処理するため、平成27年度から平成29年度まで市単独事業により支援する。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
木材生産量	90,148㎡	-	127,000㎡
伐採された木材の利用率	37%	-	45%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		175,000	148,814	175,000	232,951	232,950	84,136
特定財源	国費 ( 緑の保全事業費 1/2 )	700	1,125	700	700	1,080	△ 45
	県費 ( 緑の保全事業費 1/2 )	750	656	750	750	969	313
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 等 )	3,127	1,814	37,237	37,237	47,065	45,251
一般財源		170,423	145,219	136,313	194,264	183,836	38,617
個票枝番	主な事業内容						
	間伐事業	15,000	10,195	15,000	14,270	14,270	4,075
	間伐材利用促進事業	15,000	9,209	16,000	11,259	11,259	2,050
	未利用資源活用促進事業(集運型)	10,000	10,181	11,000	20,014	20,014	9,833
1	倒木処理支援事業	120,000	106,191	120,000	176,754	176,754	70,563

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		175,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
201,695	195,000	195,000	20,000	
1,125	1,000	1,000	300	
1,500	1,500	1,500	750	
1,726	54,532	54,532	17,295	
197,344	137,968	137,968	1,655	
査定額	説明			
10,000	国・県の予算不足が見込まれるため減			
18,000	より一層、利用間伐を推進するため増			
12,000	倒木による未利用材集運が優先されるため、間伐による材の減			
140,000	事業者への見込調査の集計結果による減			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>間伐事業 183ha ・間伐促進事業 14.9ha ・除伐事業 0.7ha</li> <li>間伐作業道開設事業 13,803m ・軽作業道開設事業 1,501m</li> <li>間伐材利用促進事業 6,145㎡ ・未利用資源活用促進事業(集運型)5,095㎡</li> <li>未利用資源活用促進事業(買取型)437t ・小規模森林整備事業 1.3ha</li> <li>倒木処理支援事業(一体処理型)21,732本 ・倒木処理支援事業(集運限定型)573㎡</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>倒木処理支援事業を創設(6月補正)し、倒木処理に着手した。</li> <li>その一方で、林業事業者において倒木処理に係る施策が最優先されたため、森林整備事業(間伐・除伐・枝打ち・間伐作業道・間伐材及び未利用資源の集運など)の事業量が平成26年度より減少した。</li> <li>倒木処理支援事業も森林整備事業も、事業量の増加に向けて、より一層、周知が必要である。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> H28完了</li> <li><input type="checkbox"/> H29完了予定</li> </ul> <p>・緑の保全事業を継続することで、高山市森林整備計画に示す「みんなで考え、生かす森林づくり」を進め、経営意欲の喚起等の積極的な支援を進める。</p>

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>間伐事業 247ha ・間伐促進事業32.2ha ・除伐事業 1.1ha</li> <li>間伐作業道開設事業 4,185m ・軽作業道開設事業 1,440m</li> <li>間伐材利用促進事業 7,510㎡ ・未利用資源活用促進事業(集運型)10,009㎡</li> <li>未利用資源活用促進事業(買取型)646t ・小規模森林整備事業 0.6ha</li> <li>森林保育促進事業 1.6ha</li> <li>倒木処理支援事業(一体処理型)31,109本 ・倒木処理支援事業(集運限定型)399㎡</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>倒木処理支援事業が周知され、平成27年度の約1.5倍の倒木が処理された。</li> <li>事業者が倒木処理と森林整備を並行して実施したため、森林整備事業の事業量も、平成27年度に対し増加した。</li> <li>作業道のみ、国・県の予算不足により、事業量が大幅に減少した。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> H29完了</li> <li><input type="checkbox"/> H30完了予定</li> </ul> <p>・緑の保全事業を継続することで、高山市森林整備計画に示す「みんなで考え、生かす森林づくり」を進め、経営意欲の喚起等の積極的な支援を進める。</p>

施策の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること。</li> </ul>
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>高山市森林整備計画に基づく、「災害に強い森林づくり・多様な森林づくり」、「効率的な木材生産・林産物の利用拡大」のための森林整備の促進</li> <li>豪雪による倒木の速やかな処理の推進</li> </ul>
財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおりに</li> </ul>

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	53210 緑の保全事業費	区分	<input type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 林務課
枝番・内容	1 豪雪による倒木処理に対する助成		<input type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	5	農林水産業費		内線
		<input checked="" type="checkbox"/> その他重要事業		項		3	林業費	作成年月	H29.8	
		<input type="checkbox"/>		目		2	林業振興費			

事業の目的・概要(Plan)

目的	平成26年12月の豪雪災害による倒木の早期処理を促進する	概要	平成26年12月の豪雪による倒木の処理に対する助成、倒木の集運に対する助成
----	------------------------------	----	---------------------------------------

【参考】H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	120,000
	最終	120,000
決算額		106,191
対前年度増減額(決算)		106,191

【参考】H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	120,000
主な経費	倒木処理支援事業	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	120,000
	繰越	
	補正等	56,754
	最終	176,754
決算額		176,754
対前年度増減額(決算)		70,563

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	140,000
主な経費	倒木処理支援事業	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	倒木処理支援事業 集運限定型 573㎡ 一体処理型 21,732本
[評価]	平成27年度6月補正にて、予算化した事業 広く市民に活用されるよう周知に努めた。
次年度以降 の考え方 (担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input checked="" type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	1. 補助対象経費 ① 倒木の伐採経費等 一体処理型 ② チップ工場等への運搬経費 集運限定型  2. 申請者 市内に住所を有する林業事業者等  3. 補助対象期間 平成26年12月17日以後実施した倒木処理を対象に、平成29年度までの3ヶ年実施する。
[スケジュール]	・H28年4月～H29年3月 倒木処理支援事業 申請受付、現地確認検査、補助金支払

事業実績・評価等	
[事業実績]	倒木処理支援事業 集運限定型 399㎡ 一体処理型 31,109本
[評価]	本事業は2年目となり、森林所有者や林業事業者体へ広く浸透したことにより平成28年度当初予算では要望額に足りず、9月に補正してその要望に応えた。
次年度以降 の考え方 (担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業実績]	倒木処理支援事業 1. 補助対象経費 ① 倒木の伐採経費等 一体処理型 ② チップ工場等への運搬経費 集運限定型
[評価]	2. 申請者 市内に住所を有する林業事業者等  3. 補助対象期間 平成26年12月17日以後実施した倒木処理を対象に、平成29年度までの3ヶ年実施する。
[スケジュール]	・H29年4月～H30年3月 倒木処理支援事業 申請受付、現地確認検査、補助金支払

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	53220 森林被害対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	1	森林の適切な管理		
			目	2	林業振興費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	農政部 林務課	内線	2234								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害の予防・駆除を実施し、豊かな自然環境を守る。	概要	・ナラ枯れの被害拡大を防ぐため、殺菌剤樹幹注入の予防措置及び被害木の薬剤くん蒸処理を実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		2,000	886	1,400	1,400	0	△ 886
特定財源	国費 ( )						
	県費 ( 森林被害対策事業費 3/4、10/10 )	1,750	874	1,300	1,300	0	△ 874
	その他( )						
一般財源		250	12	100	100	0	△ 12
個票枝番	主な事業内容						
	カシノナガキクイムシ等森林病害虫の駆除・予防	2,000	874	1,400	1,400	0	△ 874

4.平成29年度予算編成(Action)

		H29予算		実施計画額		2,000	
		要求額	財務部査定額	市長査定額	増減	査定額-(c)	
		0	0	0		△ 1,400	
		0	0	0		△ 100	
査定額	説明						
0							

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・国府地域で67本殺菌剤樹幹注入を実施した。
評価等	・国府地域で殺菌剤樹幹注入を実施し、ナラ枯れ被害を予防することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・継続的に事業の実施を行うことは勿論のこと、先端地域の被害調査を徹底して行い、それに基づき予防・駆除事業を行っていく必要がある。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害がなく、予防・駆除とも未実施。
評価等	・平成21年高山市荘川町で発見されて以来、ナラ枯れ駆除及び予防に努めてきた。その結果、現在では被害がほぼ終息している。 ・カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害の拡大を防ぐための被害調査を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・森林被害対策は、先端地域の森林病害虫の情報収集を行い、必要に応じた予防・駆除事業を行う。

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	



事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	53230 林業担い手育成事業費	予算	会計	1	一般会計	総 計 画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	3	担い手の育成・確保		
			目	2	林業振興費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	農政部 林務課	内線	2236								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある林業の情報発信や新規就業者の研修制度活用などによる森林技術者の育成確保を図る。</li> <li>地域の森林づくりを担う林業グループを育てる。</li> <li>美しい森林づくりイベントの実施による森林・林業への意識の醸成を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「飛騨高山森の仕事を養成塾」の塾生を募集し、森林技術者として育成し、市内林業事業体に就業できる知識、技術を習得できるよう研修を実施する。</li> <li>森林技術者の技術向上を図るためスイスフォレスターを招聘し、広葉樹施業技術研修会を開催する。</li> <li>林業グループの自主的な調査・研究活動等に要する経費に対して助成する。</li> <li>高山市美しい森林づくり実行委員会による講演会および研修会等を開催する。</li> </ul>
----	---	----	--

総計計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
森林技術者数	160人		260人

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		10,483	9,898	8,050	8,043	2,111	△ 7,787
特定財源	国費 ( )						
	県費 ( 林業改良普及事業費 1/3 )	3,250	1,912	350	350	300	△ 1,612
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )			300	300		
一般財源		7,233	7,986	7,400	7,393	1,811	△ 6,175
個票枝番	主な事業内容						
	林業グループ活動への支援	700	600	700	700	600	0
	高山市美しい森林づくり実行委員会負担金	150	150	150	150	150	0
	広葉樹林施業技術者の育成	1,500	729	1,500	1,500	1,280	551
1	飛騨高山森の仕事人養成塾の開設			5,700	5,693	81	81

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		21,900
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)	
19,332	1,250	1,250	△ 6,800	
350	350	350	0	
18,982	900	900	△ 6,500	
査定額	説明			
700				
150				
0				
0				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業グループ6団体の活動事業への支援を行った。(林業グループ員、一般参加合わせて132名の参加)</li> <li>第39回全国育樹祭の記念行事である「森林・林業・環境機械展示実演会」が、高山市一之宮町で実施され21,000人の来場があり、全国から多くの方が来場した。</li> <li>林業グループのメンバー、活動等が恒常化していることから、後継者育成や新たな活動等を行う必要がある。</li> <li>広葉樹施業を実践的に行うための環境(市産材の活用、補助制度等)を整備する必要がある。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業改良普及事業補助金により、森林資源活用や林業の現地実証、林業の技術伝承等が図られた。</li> <li>有用広葉樹育成技術を修得した森林技術者が育成できた。</li> <li>林業グループのメンバー、活動等が恒常化していることから、後継者育成や新たな活動等を行う必要がある。</li> <li>広葉樹施業を実践的に行うための環境(市産材の活用、補助制度等)を整備する必要がある。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業グループの活動を通じて、一般市民が林業に興味をもたれるよう、常に新たな取り組みを念頭に活動するよう指導していく。</li> <li>林業グループ合同のイベント・講習や、団体のない地域の住民を含めた情報交換の場を持つなど、後継者育成に繋げていくよう指導していく。</li> </ul>	

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業グループ6団体の活動事業への支援を行った。</li> <li>森林施業技術向上研修を開催しスイスフォレスター研修会に36人の森林技術者が参加した。</li> <li>美しい森林づくりイベントを開催し、自伐型林業講演会に119人が、チェーンソー研修会に27人の市民や森林・林業関係者が参加した。</li> <li>飛騨高山森の仕事人養成塾の制度を導入し、平成28年度及び平成29年度の塾生を募集したが、応募なし。なお、就業に1件つながった。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般市民や森林所有者等へ森林・林業への意識の醸成が図られた。</li> <li>有用広葉樹育成技術を修得した森林技術者が育成できた。</li> <li>林業グループのメンバー、活動等が恒常化していることから、後継者育成や新たな活動等を行う必要がある。</li> <li>森林技術者を育成確保するため市内外の林業就業希望者へ効果的に広報を行う必要がある。</li> <li>広葉樹施業を実践的に行うための環境(市産材の活用、補助制度等)を整備する必要がある。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業グループは、各団体の活動を通して一般市民が林業に興味を持つよう、常に新たな取り組みを念頭に活動するよう指導し、林業グループ合同によるイベントや講習、団体のない地域の住民を含めた情報交換の場を持つなど、後継者育成に繋げていくよう指導をしていく。</li> </ul>	

施策の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること。</li> </ul>
担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛騨高山森の仕事人養成塾の実施</li> <li>スイスフォレスター研修会の開催</li> <li>林業グループ活動支援</li> </ul>
財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> <li>飛騨高山森の仕事人養成塾の終了による減</li> <li>スイスフォレスター研修の実施方法の変更による減</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおり</li> </ul>

# 主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	53230 林業担い手育成事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 林務課
枝番・内容	1 飛騨高山森の仕事人養成塾の開設		<input type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	5	農林水産業費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		3	林業費	内線	2236	
		<input type="checkbox"/>		目		2	林業振興費	作成年月	H29.8	

## 事業の目的・概要(Plan)

目的	・林業従事者の減少や森林所有者の高齢化により、間伐等の森林整備が遅れている。そのため、将来林業に従事する人材を育成し、市内に移住することを目的に、「飛騨高山森の仕事人養成塾」を実施する。	概要	・平成28年度から3ヶ年で10名の「飛騨高山森の仕事人養成塾」の塾生を募集し、森林技術者として育成し、市内林業事業体に就業できるよう知識、技術を習得する研修を実施する。
----	---	----	--

### 【参考】H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

### 【参考】H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	5,700
主な経費	・報償費	3,600
	・家賃借上料	980
	・自動車借上料等	420
	・備品購入費等	700
	対前年度増減額(当初予算)	5,700

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

### H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	5,700
	繰越	
	補正等	△ 7
	最終	5,693
決算額		81
対前年度増減額(決算)		81

### H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	0
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		△ 5,700

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塾生への支援 3人分</li> <li>・支援内容:報償金(月20万円)</li> <li>・自動車の貸与</li> <li>・林業機械(チェーンソー等)の貸与</li> <li>・住居の提供</li> </ul> <p>・塾生及び受入事業体の募集、選定</p>	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月～6月 受入事業体募集、決定</li> <li>・7月～9月 H28年度の塾生募集、決定</li> <li>・10月～ H28年度研修開始</li> <li>・11月～2月 H29年度の塾生募集、決定</li> </ul>	

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定した受入事業体 2事業体</li> <li>・H28年度、H29年度塾生の応募なく事業の終了決定</li> <li>・林業ガイダンス等への参加による募集PR(計4回)</li> </ul> <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業ガイダンス等により多くの方が興味を示したものの、塾生の応募まで結びつかず塾生が確保できなかったことから事業を廃止することとした。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業体や関係機関と連携し、就業ガイダンスなどに併せ、移住フェア等による情報発信や就業相談者への個別支援を引き続き行う。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林技術者が安定した仕事量を確保するための仕組みづくりを検討する。</li> <li>・国や県の就業促進施策等を周知し、市への移住就業の促進に向けて都市部での林業就業ガイダンスへ参加する。</li> <li>・H29年度塾生の応募なく事業の終了決定</li> </ul>	
[スケジュール]	

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	53240 林道整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	2	森林資源の有効活用		
			目	2	林業振興費		根拠計画				
担当課	農政部 林務課	内線	2234								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担</li> <li>林道の早期完成</li> <li>林道改良の実施</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>高山市の受益者負担金を支出する。</li> <li>受益者組合への補助金を交付する。</li> <li>県代行業業に対する負担金の支払い。</li> <li>林道公共事業(国・県補助)を活用し、林道の改良を実施する。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
木材生産量	90,148㎡	-	127,000㎡
伐採された木材の利用率	37%	-	45%

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		46,353	39,718	44,951	44,947	37,931	△ 1,787
特定財源	国費( )						
	県費( 林道改良事業費 1/2、6/10 )	14,500	13,135	13,000	13,000	12,077	△ 1,058
	その他( )						
一般財源		31,853	26,583	31,951	31,947	25,854	△ 729
個票枝番	主な事業内容						
	林道改良工事費	20,000	19,408	24,000	24,000	22,488	3,080
	林道八幡・高山線宮・高山区間建設事業負担金	5,500	1,620	10,500	7,500	3,735	2,115
	大規模林道賦課金元利補給金	12,693	12,692	10,361	10,361	10,361	△ 2,331
	林道橋りょう点検委託						

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		38,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)	
69,386	58,778	58,778	13,827	
36,208	29,000	29,000	16,000	
33,178	29,778	29,778	△ 2,173	
査定額	説明			
24,000				
7,500				
8,188				
16,000	インフラ長寿命化基本計画に基づく橋りょう点検			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道宮・高山線整備済延長 9782m</li> <li>事業負担金の支払い(県事業費の5%)</li> <li>受益者組合への補助金交付 2組合</li> <li>林道改良工事の実施 刈安線(一之宮)舗装 L=349m 舟山~牛牧線(久々野)法面L=56.1m 下柏線(丹生川)法面 L=49m 駄吉線(丹生川)法面 L=16m</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定
評価等	<p>林道宮・高山線は、森林整備の目的だけでなく、一之宮地域と高山地域を結ぶ基幹道として期待されているため、早期完成を実現できるよう事業を進める。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、県の代行業業として実施する。(林道開設)</li> <li>引き続き、事業の進捗を図る。(林道改良)</li> <li>引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。</li> </ul>	

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道宮・高山線整備済延長 9782m</li> <li>宮・高山線事業負担金の支払い(県事業費の5%)</li> <li>受益者組合への補助金交付 2組合</li> <li>林道改良工事の実施(丹生川)駄吉線 L=39.3m (清見)夏蔵~大倉線 L=67.8m (上室)双六~瀬戸線 L=48m</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定
評価等	<p>林道宮・高山線は、森林整備の目的だけでなく、一之宮地域と高山地域を結ぶ基幹道としても期待されているため、早期完成を実現できるよう事業を進める。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、県の代行業業として実施する。(林道開設)</li> <li>引き続き、事業の進捗を図る。(林道改良)</li> <li>引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。</li> </ul>	

施策の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること。</li> </ul>
担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮・高山線開設のための支障木伐採工事を実施</li> <li>林道改良工事を実施</li> <li>インフラ長寿命化を目的とした橋梁点検を実施</li> </ul>

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> <li>橋りょう点検に必要な経費を計上</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおりに</li> </ul>

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	53250 生活環境保全林管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業	
			項	3	林業費		施策概要	3	担い手の育成・確保	
			目	2	林業振興費		根拠計画	高山市森林整備計画		
担当課	農政部 林務課	内線	2236							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境保全林の活用による森林・林業への意識の醸成</li> <li>生活環境保全林の適正な管理による自然とふれあう機会の創出</li> <li>森林の植生観察等を通じ、情操のかん養及び自然保護意識の高揚を図る。</li> <li>自然と共生する地域づくりに寄与し山林を市民の財産として将来に継承する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境保全林の適正な維持管理、整備工事の実施</li> <li>利用者増に向けて、普及啓発、地域団体等と協力したイベントの開催</li> </ul>
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
「地元の木材が広く利用され、林業。木材産業が活性化している」と感じている市民の割合	(H26) 27.3%	30.0%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		9,874	6,415	9,874	9,874	9,303	2,888
特定財源	国費( )						
	県費(生活環境保全林整備事業費 10/10)	5,000		5,000	5,000	4,860	4,860
	その他( )						
一般財源		4,874	6,415	4,874	4,874	4,443	△ 1,972
個票枝番	主な事業内容						
	遊歩道等の維持管理	4,874	4,346	4,874	4,874	4,443	97
	整備工事	5,000	2,069	5,000	5,000	4,860	2,791

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
22,102	20,034	20,034	10,160	
15,000	15,000	15,000	10,000	
7,102	5,034	5,034	160	
査定額	説明			
5,034	遊歩道の草刈委託費、トイレ等施設の維持管理費、土地借上料等			
15,000	遊歩道や看板等施設の修繕、観光景観林の整備			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境保全林の利用者数 135,191人</li> <li>遊歩道等施設のある生活環境保全林(清見3箇所、荘川1箇所、朝日1箇所、高根1箇所、国府1箇所)について、定期的な点検や草刈り等の維持管理を行った。</li> <li>施設の修繕(荘川であいの森:シンボルタワー撤去、あさひの森:水屋橋修繕)を行った。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊歩道の管理や施設の修繕等による適正な管理により、市民や観光客等に対し、安全に自然とふれあう場が提供できた。</li> <li>老朽化する施設を計画的に修繕を行う必要がある。</li> <li>利用者の増加に向けた普及啓発を強化する必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報によるPRのほか、地域団体等と協力したイベントなどを開催し、利用者の増加を図る。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境保全林の利用者数 123,418人</li> <li>遊歩道等施設のある生活環境保全林(清見3箇所、荘川1箇所、朝日1箇所、高根1箇所、国府1箇所)について、利用者の安全を確保するため、定期的な点検や草刈り等の維持管理を行った。</li> <li>施設の修繕(せせらぎ街道四季の郷・おおくら滝遊歩道修繕)を行った。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊歩道の管理や施設の修繕等による適正な管理により、市民や観光客等に対し、安全に自然とふれあう場が提供できた。</li> <li>老朽化する施設を計画的に修繕を行う必要がある。</li> <li>利用者の増加に向けた普及啓発を強化する必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊歩道等の適切な維持管理を行う。</li> <li>計画的な施設の修繕を行う。</li> <li>観光景観林としての森林整備を行う。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の適正な維持管理</li> <li>利用促進に向けた普及啓発</li> <li>観光景観林整備</li> </ul>
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	53260 森林整備地域活動支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	2	森林資源の有効活用		
			目	2	林業振興費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	農政部 林務課	内線	2235								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>・計画的かつ一体的な森林の施策が行われるよう、その実施に不可欠な森林の現状調査、境界の明確化、作業路等の整備を図る。</p>	概要	<p>・市との協定に基づく森林整備のための地域活動(森林経営計画の作成や森林施業を前提とした森林調査、境界の確認作業、林内作業路網の改良等)に要した経費と、対象面積に交付単価を乗じた額(基準上限額)を比較していずれか低い額を交付する。 (森林整備地域活動支援交付金事業:国、県、市の予算で費用負担)</p>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
木材生産量	90,148㎡	-	127,000㎡

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		60,080	19,770	15,080	7,119	7,005	△ 12,765
特定財源	国費( )						
	県費( 森林整備地域活動支援事業費 1/2、3/4 )	45,040	15,308	11,290	5,748	5,748	△ 9,560
	その他( )						
一般財源		15,040	4,462	3,790	1,371	1,257	△ 3,205
個票枝番	主な事業内容						
	森林整備地域活動支援事業補助	60,000	19,716	15,000	6,952	6,952	△ 12,764

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		60,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
19,729	20,090	20,090	5,010	
14,779	15,045	15,045	3,755	
4,950	5,045	5,045	1,255	
査定額	説明			
20,000	森林経営計画作成に必要な境界確認や同意の取り付け 等			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<p>・協定締結者数 2団体 ・作業路の修繕、計画の作成促進 等</p>
評価等	<p>・事業実施後の森林経営計画の作成や間伐の実施について、森林所有者や関係団体へ周知していく必要がある。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<p>・事業実施後の森林経営計画の作成や、間伐等の実施を促進する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善  <input type="checkbox"/> 拡大  <input type="checkbox"/> 縮小  <input type="checkbox"/> 廃止検討  <input type="checkbox"/> H28完了  <input type="checkbox"/> H29完了予定</p>

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<p>・協定締結者数 2団体 ・作業路の修繕、計画の作成促進 等</p>
評価等	<p>・平成27年度から平成29年度にかけて倒木処理事業が優先的に実施されていることから、当事業の実績は前年度より減少している。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<p>・事業実施後の森林経営計画の作成や、間伐等の実施を促進する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善  <input type="checkbox"/> 拡大  <input type="checkbox"/> 縮小  <input type="checkbox"/> 廃止検討  <input type="checkbox"/> H29完了  <input type="checkbox"/> H30完了予定</p>

施策の実施方針	<p>・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること。</p>
担当課 予算要求ポイント	<p>・市との協定に基づく地域活動の推進</p>
財務部 査定の考え方	<p>・要求どおり</p>
市長査定の考え方	<p>・財務部査定のとおり</p>

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	53300 分収造林整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	1	森林の適切な管理		
			目	3	分収造林費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	農政部 林務課	内線	2235								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	・公的造林資本による分収造林契約森林において、森林の現況調査により、間伐や枝打ち等の施策を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
木材生産量	90,148m <sup>3</sup>	-	127,000m <sup>3</sup>
伐採された木材の利用率	37%	-	45%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		9,166	8,478	17,064	17,064	16,177	7,699
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他(分収造林事業 雑入)	9,000	8,348	17,000	17,000	16,119	7,771
一般財源		166	130	64	64	58	△ 72
個票枝番	主な事業内容						
	分収造林の整備	9,000	8,348	17,000	17,000	16,119	7,771

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)	
17,459	17,112	17,112	48	
17,347	17,000	17,000	0	
112	112	112	48	
査定額	説明			
17,000	分収造林地における保育施策			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・間伐等施策実施面積 19.47ha (丹生川地域、国府地域)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定
評価等	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施策を実施することができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・国等の補助制度を有効活用し、必要な施策を継続的に実施する。 ・旧森林開発公団分収造林地の管理業務委託等について検討する。	

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・間伐等施策実施面積 48.91ha (高山地域、丹生川地域、荘川地域)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定
評価等	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施策を実施することができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・国等の補助制度を有効活用し、必要な施策を継続的に実施する。 ・旧森林開発公団分収造林地の管理業務委託等について検討する。	

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	・市が管理する分収林の森林整備の実施

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり